

広島大学

令和 8 年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜Ⅱ型

解答例・出題の意図等

歯学部 歯学科

科目名：小論文

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

令和 8 年度 広島大学光り輝き入試 総合型選抜Ⅱ型

歯学部歯学科 小論文

出題の意図

問 1

本問題は、便利な道具や技術に頼ることの功罪を多面的に考察させることを目的としています。引用文では、腰痛を和らげるコルセットという医療器具の使用から、AI やネット検索といった現代の便利なツールへの依存を省みる様子が描かれています。ここから、道具や技術が人間の生活や能力に与える影響について考え、「道具・技術」と「人間の力」のバランスの取れた見解を提示できるかを問うものです。特に、医療分野ではAI 診断や最新機器の導入が進む一方で、医療者の判断力や患者理解といった人間的要素がますます重要となります。本問題は、技術の恩恵とリスクを具体的に論じ、将来医療者としてどのように道具や技術と付き合い、患者の尊厳を守る姿勢を示せるかを評価します。

問 2

本問題は、歯学科入学を目指している受験生に対して、規範意識、社会的規制および協調性を踏まえ、被災者の心理や社会的側面を含めた多角的視点から、被災者支援に対する考えと具体的な支援策を問うものです。

被災地には、高齢者、妊産婦、乳児、障害者、日本語が不自由な外国人など様々な被災者がいることから、個々の被災者のニーズの聞き取りに基づく支援が必要となります。また、被災者に加えて、行政担当者、民間企業からの担当者、医療従事者、ボランティアなど多職種の人が被災地で働いていることから、支援のための対策を講じるには、コミュニケーションを通して幅広く情報を収集することが求められます。受験生が考える支援は、受験生の被災者支援に対する考え方に基づいているため、支援の内容は多様になることが予想されます。例えば、仮設住宅で生活する災害弱者の孤立を防ぐ支援、被災者のためボランティア活動する人への環境整備に関する支援、思い出のある大切な品を失った被災者への支援、被災者が飼っている犬や猫などのペットに対する支援、薬が必要な持病のある被災者への支援あるいは温かい料理を提供するための炊き出し支援などが挙げられます。

本問題を通して、医療者として必要な主体性を持って多様な人々と協働できる能力、責任感、豊かな人間性、情報収集能力、独創的な視点、豊かな発想力および想像力あるいは問題解決能力を有しているかを評価します。